

第1回災害対策委員会を開催しました！

5月18日（金）千葉県生協連会議室において『2018年度第1回災害対策委員会』を開催し、委員、事務局など13名の参加がありました。

今回の災害対策委員会は、千葉県生協連の災害対策アドバイザー水島氏より「減災について～少子高齢化時代に沿った生活環境の変化～」について講義を受けました。

はじめに、自分の家が自助の備えができていないか10項目の減災チェックを行いました。職員として、災害対策委員のメンバーとして、災害発生時に出勤命令が出ても家族が困らないように、常日頃から地震速報や警報の発令でどのように行動するか家族で決める、災害に備えて食糧、水、紙など7日分の備蓄をするなど自助の備えをしておくことの大切さを学びました。

年々首都圏も地震の発生率が高くなり人口の減少・少子高齢化が続き災害が発生したら助ける人より助けて欲しい人が増加し人手不足になります。時代に合わせた支援の仕方が課題となっています。地域住民・行政・防災機関・学校などが連携しあい支援する側と支援を受け入れる側、相互の地区防災協力体制整備が望まれます。



水島災害対策アドバイザーの講義

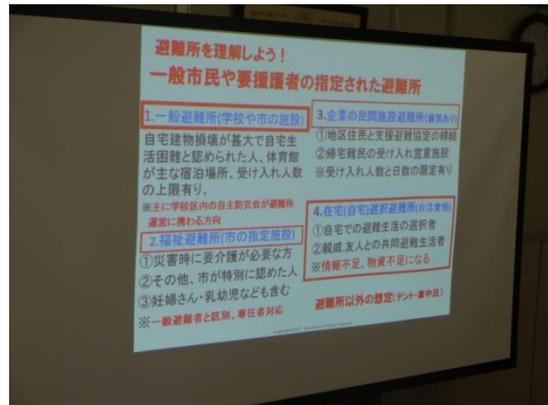
首都直下地震の発生場所と仕組みを地図を見ながら説明していただきました。また大規模災害が起きた時にライフラインの停止に伴う被害想定や、在宅避難の問題点など教えて頂きました。



企業の地元貢献が活発になってきていますが、食糧・生活用品の物流シス

テムが改革され在庫なしの営業店舗が急増し、災害時の物資不足が懸念されます。生協の災害時社会貢献のあり方についても、話がされました。

講義のあと、自助・共助・自治会の連携のあり方や防災の取り組みについて交流しました



避難所についての説明

参考資料

《 減災チェック 10 項目 》 いくつ〇が付くか試してみませんか？

減災整	減災チェック項目	〇
①	家屋内の家財道具に対して安全を考えて配置したり家具転倒対策をしている(生き抜くための事前対策をしている)	
②	「緊急地震速報・特別警報」発令で、どう行動するか家族で事前に決めている(家庫・職場・外出先)	
③	家族全員で集合する場所や連絡手段(171/災害メール等)を事前に決めている	
④	指定避難所までの安全な経路を家族全員が知っている(地震災害・水害災害で異なる場合あり)	
⑤	災害情報を知らせる、行政の災害通報メール等に加入していますか？	
⑥	行政発行の防災マップを自宅に掲示して、事前に家族の持ち合わせ場所などにシールなどで目印対策を行っている	
⑦	食糧・水・子供/大人用のオムツ(生理用品)などを災害時に備えて、7日分は備蓄している	
⑧	大規模災害に備えたお金(特に小銭)の準備をしている	
⑨	指定避難所・福祉避難所を知っていますか？又は在宅(自宅)避難に備えた備えは十分ですか？	
⑩	停電・断水・排水禁止に備えて給水袋や排水袋などの運ぶものを事前に用意している	